

④ 道路・交通網の復旧

● 道路災害

北中部地域を中心に、浸水、がけ崩れによる土砂や倒木、道路の崩壊など、約200か所で全面通行止めとなりました。6市町54地区が孤立し、救助・救援活動に向かう車や、府民の生活に大きな影響ができました。

● 国道173号の復旧



崩壊した国道173号(綾部市)



復旧工事完了



復旧中

仮復旧で片側通行が可能に



仮橋をかけて一日も早く通行ができるようにしました。引き続き本格的な復旧工事を行いました

道路情報板

土砂災害や浸水による通行止めなどの情報をお知らせするもの。



台風や大雨の時は、特に通行規制についての情報に注意しよう

道なき道を確保して

「裏山からの土砂で家が押しつぶされ、家族が閉じこめられた」と通報がありました。すぐに現場へかけつけ、人がひとり入れる程度の通路を確保しておばあさんを救出しました。病院へ向う道路が土砂や陥没により通れないことがわかり、まわり道も検討しましたが、おばあさんの健康状態を考え、陥没した道路に鉄板をわたすことにして、ぎりぎり車を前に進めることができました。救急車も途中までむかえにきてもらい、無事病院まで搬送できました。あのときは地元の方と消防団の誰もが「自分のことよりまわりの人を

助ける」との思いで団結し、行動していました。

京丹後市弥栄第5分団分団長(現本部付分団長) 久江 康幸さん



● 鉄道災害

北中部の中心的な交通機関であるJR、北近畿タンゴ鉄道(KTR)でも、線路が土砂で埋まったり、ケーブル類の切断などの被害が発生しました。

特にJRの下夜久野駅～上夜久野駅間では斜面が崩壊し、20日の運転見合わせから30日の運転再開までに、713本が運休しました



一刻も早い復旧をめざしてがんばってくれたんだね



KTR久美浜と但馬三江間の被害



一日も早い運転再開をめざした復旧工事 (KTR宮村駅付近)

北近畿タンゴ鉄道では、ポイント(※)の操作機器5基が水につかり動かなくなりました。

予備の機器だけでは足りず、「それがないと再開できない」と他の鉄道会社に応援を要請しました。24時間体制で必死に復旧作業を進めるなか翌日JRから「機器がある」との連絡が入り、5日後に無事全線、運転を再開することができました。

※ポイント…鉄道で、車両を他の線路に移すために、線路の分かれ目に設けてある装置。



北近畿タンゴ鉄道 古川 三雄さん



京都府北中部を結ぶ「北近畿タンゴ鉄道」

● 主な道路の被害

土砂崩れや崩壊により被害があった道路：国道・府道・市町村道あわせて約1,100か所
被害額：約79億円
全面通行止めとなった区間：197か所
片側通行となった区間：52か所

● JRの被害

10月20日から運転見合わせ、10月30日運転再開
山陰本線：船岡～上夜久野 運休713本
舞鶴線：綾部～東舞鶴 運休73本
被害額：約4億円

● 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の被害

10月20日から運転見合わせ、10月25日運転再開
宮津線：西舞鶴～豊岡 運休198本
宮福線：宮村～下天津 運休181本
被害額：約4.5億円

